

## 茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	「2015年出生児を対象としたハイリスク新生児医療全国調査」
当院の研究責任者	新井順一
他研究機関および各施設の研究責任者	日本小児科学会新生児委員会
本研究の目的	<p>本調査の目的は、2015年に出生した超低出生体重児の死亡率を明らかにするとともに、過去の調査と比較してどのように変化しているのかを明らかにすること、さらには死亡率に影響を及ぼす要因を検討することです。またわが国の周産期医療の特徴として、超低出生体重児の死亡率は諸外国と比べて著しく低い一方、未熟児網膜症や慢性肺疾患といった、早産児特有の合併症の頻度が高いことが分かっています。本調査では死亡率とともに、これらの合併症の発生頻度についても調査を行い、わが国における現状を把握、諸外国との国際比較を行う際のデータとして使用するとともに、今後のわが国の周産期医療の更なる発展につなげることを目的としています。</p>
該当期間・対象者	<p>対象となる方:2015年1月1日から2015年12月31日に出生体重1,000g未満で出生した新生児（超低出生体重児）</p> <p>研究実施期間：2021年9月末日まで</p>
研究の方法	<p>① 研究実施施設 以下の1)-3)のいずれかに当てはまる周産期医療施設</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 病床数100以上の病院で産科・小児科双方を有する病院</li><li>2) 小児医療施設（こども病院など）</li><li>3) 母子周産期医療センター</li></ol> <p>② 研究実施方法 下記に示す項目について、対象の患者様の診療録よりデータを抽出させていただきます。</p> <p>出生体重、在胎期間、性別、新生児搬送・母体搬送の有無、分娩形式、</p>

	<p>母体へのステロイド投与の有無、臨床的絨毛膜羊膜炎の有無、妊娠高血圧症候群の有無、児が入院した日齢、児の合併症（壊死性腸炎、新生児限局性消化管穿孔、慢性肺疾患、未熟児網膜症、嚢胞性脳室周囲白質軟化症、脳室内出血）、児の転帰（自宅退院、転院、死亡）、主たる死亡原因、退院時の体格、在宅医療の有無</p> <p>（氏名、生年月日、住所、電話番号など個人を特定可能な情報は含まれません。）</p>
他機関への情報提供	日本小児科学会新生児委員会
個人情報の取り扱い	<p>本研究では、氏名、カルテ番号、生年月日、住所、電話番号などのように、個人を特定可能な情報は抽出の対象に含まれておりません。調査データは日本小児科学会事務局において原則5年間保管させていただきます。これを延長する場合には、改めて小児科学会倫理委員会での承認を必要とします。</p>
利益相反	なし
問い合わせ先	茨城県立こども病院 新井順一
備考	